

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月19日		記入者		内線	5119
部名	学校教育部	課名	教職員課		課長名	小宮 満彦
事務事業名	教職員表彰事業					
予算上の事務事業名	教職員表彰経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度	
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
<p>多年にわたり職務に献身精励し、業務成績が優良かつ校務のため顕著な功労がある者に対し、教職員の模範としてその功労を表彰するもの。これにより、他の教職員の勤務意欲を鼓舞する。</p>				50歳以上かつ勤続15年以上の者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
<p>年度末の平成17年3月31日に、退職辞令の伝達とあわせて「教職員勤続功労表彰式」として実施した。 対象者 86名</p>						
6 関連・類似事業や他市の状況						
他自治体でも同様の事業を行っている。						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	1,599	1,712	1,667	1,906	1,906	
一般財源	1,599	1,712	1,667	1,906	1,906	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	238	328	463	463	463	
事業コスト合計(a)	1,837	2,040	2,130	2,369	2,369	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	教職員表彰事業			対象名称(単位)	回	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	1,837	2,040	2,130	2,369	2,369	
対象数	1	1	1	1	1	
単位あたり経費(円)	1,837,000	2,040,000	2,130,000	2,369,000	2,369,000	
前年度比		1.11	1.04	1.11	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	被表彰者数	指標式と指標の説明		対象者数 - 表彰辞退者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	59.0	79.0	86.0		
目標	59.0	79.0	86.0	88.0	88.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	被表彰者率	指標式と指標の説明		(対象者数 - 表彰辞退者数) / 表対象者総数 * 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		教職員の長年の苦勞に報い、功勞を称え、後進の意欲向上に繋がる事業なので、今後も継続することが必要であると考えます。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
表彰式の簡素化、記念品に係る経費の削減などについて毎年見直しをしているところであり、これ以上の効率性向上(予算削減)を図るには、記念品を全廃する程度しかない。			事業を簡素化することと対象者のモチベーションを高めることの兼ね合いが難しい。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			